



# 見中・磐田南高等学校 同窓会だより

## 第34号

発行日

平成24年10月10日

発行者

見中・磐田南高等学校同窓会  
発行責任者：櫻井孝順

同窓会ホームページ

<http://www.iwatanet.com/bannan/>

# 記念すべき母校創立90周年

## ―歴史に学び、未来を拓く―

母校90年の輝かしい歴史を振り返り、多くの恩師、先輩、そして地域に感謝しなくてはなりません。この思いと同窓の誇りを持ち、新たな道を切り開いて行こうではありませんか！

## 第86回同窓会総会開催

平成24年8月19日  
於 磐田グランドホテル

### 総会懇親会を終えて

総会実行委員長  
高43回 内野宗揮



ちんどん屋のステージショー

8月19日、第86回同窓会総会・懇親会が多くの諸先輩、学校関係者、同窓生の皆様方のご支援、ご厚情を賜りまして、無事開催されましたことに、担当年次といたしまして心より御礼申し上げます。この度、表彰を受けられました見中16回、



総会実行委員長  
高43回 内野宗揮

南高5回、同15回の皆様方にお祝いを申しあげますとともに、猛暑にもかかわらず、総会・懇親会とも、多数の同窓生の皆様のご臨席を賜り、盛況のうちに終える事ができましたことを、ここに報告申し上げます。本年は、来る11月14日に磐田南高等学校創立90周年記念式典が行われるところでもあり、そのような節目の年に担当年次の大役を仰せつかり、これまでに培われた伝統、先人・諸先輩とのご縁や繋がりを感じ、これからの連綿と伝えられるのであります。同窓生としての想いや心に触れることができ、大変に貴重な経験をさせていただきました。今後とも、母校の更なる躍進、発展及び同窓会の皆様の益々のご健勝、並びに良き伝統が引き継がれていきますことをお祈り申し上げます。

### 金

卒業70周年(中16回)  
挨拶は加藤芳朗さん



ただ今は盛大な拍手とともに私共70周年の記念メダルをご頂戴いたしました事、誠に有り難く存じております。

私共は昭和17年に卒業いたしました。それから70年になるとともに、これから88才の米寿に向かっていくところです。うれしく感無量です。

最近出版されました回想録の記述通り当時は戦争の時代でありまして尾崎校長

### 受賞者喜びの談

金・銀・銅

### 銀

卒業60周年(高5回)  
挨拶は本間信雄さん

本日はこのような盛会の中で私達5回生の卒業60周年記念を祝って頂きありがとうございます。

私達は激動の幼少時代を送りました。小学校1年生の時第二次世界大戦が勃発しました。4年生の時終戦となりましたが、その間常に兵隊さんを夢見て運動に、勉強にとがんばって参りました。

終戦後、校長先生のヒゲがそれくらいいい顔になったのを覚えております。

民主主義の平和な時代となり、教育制度も6・3・3制に変わり私達の時には見付中学に進学するのが夢になっていまし

先生の質実剛健と労作教育できたえられ成長しました。これからも何年かは生き長らえるところまで精一杯がんばって参りますのでよろしくお願ひします。



金賞受賞者

### 銅

卒業50周年(高15回)  
挨拶は伊藤修一さん



母校の創立90周年のお目出たい時に、私達高校15回生は同窓会より銅メダルを頂き、ありがとうございます。



銅賞受賞者

270名で卒業し、以後50年間で26名の友を失いました。この壇上にいます者は、学業成績は元より、元気で、よりすべりの37名です。卒業した時は、吉永小百合の「キューポラのある街」と言う映画、昨夜のテレビのNHK思い出のメロデーに出ていました舟木一夫の「高校三年生」、修学旅行」の歌が日本国中に流れていました。当時を思い返すに日本の国も又、青春の時代だったなと思います。

10年後母校は100周年を迎えます。その折には私達もまた、大勢で壇上に登り銀賞をもらいたいと思います。もちろん20年後の88才には金メダルをもらいに参上します。終りに母校同窓会の益々の発展をお祈り致します。

## 尾崎先生墓前に 創立90周年を報告



銀賞受賞者

櫻井孝順同窓会長はじめ役員が第86回総会に先立って、見性寺に眠る尾崎先生の墓前に「母校創立90周年」を報告しました。

先生の質実剛健の精神が今に受け継がれ、栄光の磐田南高が益々発展している事の感謝とお礼を申し述べました。



### 重き使命を担って、節目を大切に

同窓会会長 高17回 櫻井 孝順



同窓会員の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のことと拝察致します。母校の同窓会に對しましては、日頃よりご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。スポーツの祭典、オンラインピックに沸いた今夏、磐田南高校同窓会恒例の真夏の行事を盛會裡に行うことが出来ました。

8月19日(日)午前中には、母校はぐま会館に於いて、高校34回生の主幹により同窓会慰霊祭が厳かに挙行され、各年次評議員の協力にてこの1年間に亡くなら

れた恩師・同窓生と年次物故者の御霊の追悼がなされました。午後は、磐田グラウンドホテルにて、「第86回見中・磐田南高等学校同窓会総会」が開催されました。本年は高校43回生が担当し、1年余の準備と団結が実り、総会・懇親会が盛り上がり

ました。同窓会での各行事の運営は、卒業20年目が総会、30年目が慰霊祭を担当し、40年目が同窓会への資金援助となっておりです。そして、卒業50年、60年、70年とお元気で再会された方々、さらには長寿をむかえた先輩諸兄を總會当日に壇上へお迎えし、金・銀・銅のメダルを贈呈しました。満席の会場からは祝福の拍手、そ

してそれぞれの代表のスピーチに感動の思いが伝わってきました。共に励まし合い、在りし日を懐かしむ姿にも、このような同窓生の絆を大切に継ぎついでまいると思っております。初代校長尾崎楠馬先生は、「人に身ありて、現在に生きを愛するなり」と遺されておられます。学舎を築き上げた目標にむかって築き上げてきた自己、その根幹を見据えた若き日の熱い思いを大切にしたいものです。人づくりの為、地域の人が願望し、静岡県下7番目の県立中学校として大正11年に創立された母校は、今年90周年を迎えました。同窓会におきまして、昨秋より

皆様に募金をお願いし、今春には昭和18年に建立された「尾崎先生頌徳之碑」を正面玄関前に移設事業、7月には見中16回生より高校4回生に至る、戦時下、学制改革の中で学んだ諸先輩80余名の方々の玉稿を「回想録第2号」として発刊することができました。

11月には、創立90周年記念式典、記念誌の発行等を基に、間近にせまった創立100周年を見据えて、同窓生の志気を高めるとともに、母校のさらなる発展に寄与してまいりたいと思っております。

結びにあたり、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

### 学校創立90周年を迎えて

磐田南高等学校校長 高24回 伊藤 律夫



日に、「移動知事室」があり、川勝平太県知事一行の来校がありました。特色ある学校ということで、今回は本校1校が選ばれました。当日、はぐま会館の前でお待ち

な励みになりますね」と仰っていただきました。

また、部活動も活発で、ほとんどの部活が県大会に出場しています。陸上競技と水泳部(水球)が東海大会に出場し、伝統の陸上部は、インターハイ全国大会への出場も果たしました。文化部では、ビジュアル部文化祭に出場しました。

全国の見中・磐田南同窓会員の皆様には、今年もこのようにご挨拶できますこと、心より感謝申し上げます。特に今年、創立90周年を迎えました。同窓会の皆様からは温かなご支援を賜り、誠にありがとうございます。11月14日には、磐田市民文化会館で記念式典を挙行いたします。地域の皆様にも感謝申し上げます。また、何と云いまして、在校生諸君が学校と自らに誇りを抱く機会になることを期待しています。

さて、1学期末の7月20

さされた。浜松医大が高校と連携するのは初めてのことであり、また、全国で医大と連携している高校は、本校で10校目です。生徒諸君にとって魅力があり、生

きた学力を培える学校を目指してまいります。

また、部活動も活発で、ほとんどの部活が県大会に出場しています。陸上競技と水泳部(水球)が東海大会に出場し、伝統の陸上部は、インターハイ全国大会への出場も果たしました。文化部では、ビジュアル部文化祭に出場しました。

結びに、創立100周年に向けて、同窓会の益々のご隆盛を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

掛川市は、ここ数年、成績が振るわず不本意な結果が続いていることから、松井掛川市長より中上市議(当支部事務局長)にチーム強化に向けて協力依頼がありましたので当支部として係わり支援することになりました。



学校創立90周年のシンボルマーク

### 慰霊祭を担当して

慰霊祭実行委員長 高34回 鈴木 隆之



8月19日午前10時より、はぐま会館におきまして櫻井同窓会長、伊藤校長先生を始めとする同窓会及び恩師や学校関係者の皆様、高校34回生生物故者のご遺族の

午後には恩師を囲んで全国から集った100名近々の同窓生と懇親会を開き、その席であらためて亡き友のことを偲びました。また、卒業30年後に再会できた喜びを分かち合い、今後のお互いの活躍を約束した貴重な一日となりました。



高校34回生物故者のご遺族への慰霊祭開催のご挨拶や、故人一人ひとりへの追悼の詞を読み上げる場面では、多くの同窓生の協力により、心を込めて丁寧に行うことができました。

### 関東支部長

高17回 博 落合



広島県出身の建築士会の友人と高校同窓会の話になった時、友人の高校では関東支部の年次委員会は開催する度に出席者が300名位だという。我が高校の関東支部の年次委員会の出席者数は通常25名前後。友人になぜ出席者が多いのか聞いてみれば、その高校の各学年の年次委員は10名とのこと、我が支部では1~2名。もし、各学年の年次委員を大幅に増やせば、つまり運営する側の人数を増やせば総会出席者数も増えるのではないかと、という考えが浮かびました。これは支部としての正式決定ではなく、そういう方針でいこうかなという段階です。

### 支部報告

高7回 大庭 勝良



### 掛川・菊川支部長

高7回 大庭 勝良

幸い、磐南陸上部の同期にスズキ(株)の元副社長 筒井昭君がおりますので、スズキ浜松A.Cに協力を懇願しましたところ、ご支援いただけることになりました。鈴木社長からもA.C代表の良知三夫氏、及び筒井顧問に掛川市と連携強化対策に入るようのご指示で、A.Cの森野基氏が専任コーチとして派遣が決定しました。

後は良い結果を待つのみですが、当支部の役割は十分果たしたのではと判断しております。市当局には磐田南同窓会のフットワークの良さ、組織的な行動力を示すことが出来たのではと思っております。

平成24年度の総会には、ロンドンパラリンピック出場の山本篤選手(スズキ浜松A.C)をお招きして開催したいと計画しているところです。

### 袋井支部長

高7回 鈴木 計男



### 同窓会の親交と絆

本年度支部総会が、7月29日袋井市総合センターにおいて、櫻井孝順同窓会長、伊藤律夫学

校長にご出席いただき開催いたしました。役員として年次委員のご協力により、130名の参加を得ることができました。厚く御礼申し上げます。

当日は総会につき、元同窓会副会長橋本洋子氏の「学校創立90周年の想い」と題しての講演を、ありがたく拝聴いたしました。懇親会では、話題も弾み同窓生同志親交と絆を深めることが出来ました。

### 支部総会に参加を

関東支部

支部長 落合(高17回)  
住所 横浜市戸塚区矢野町102-9  
電話 045(881)2866  
総会日 平成24年11月10日  
会場 「レストラン・アパシカ」パレスサイド店

静岡支部

支部長 内野 稔(高23回)  
住所 磐田市豊浜1-15  
電話 0538(68)2928  
総会日 平成25年7月9日(予定)  
会場 静岡市内(駅周辺)

掛川・菊川支部

支部長 大庭勝良(高7回)  
住所 掛川市杉谷南1-16の4  
電話 0537(21)7033  
総会日 未定

袋井支部

支部長 鈴木計男(高7回)  
住所 袋井市陸町8-8  
電話 0538(42)5029  
総会日 平成25年7月下旬予定  
会場 袋井市総合センター

磐田支部

支部長 青島元樹(高14回)  
住所 磐田市中崎4-11の1  
電話 0538(34)9203  
総会日 平成25年4月13日  
会場 ウィーヴァル迎賓館磐田

豊田支部

支部長 芥川知孝(高20回)  
住所 磐田市池田1-288  
電話 0538(35)2564  
総会日 平成25年2月中旬予定  
会場 磐田商工会豊田支所

西遠支部

支部長 村松 運(中20回)  
住所 浜松市東区北島町556  
電話 053(421)3721  
総会日 未定

東海支部

支部長 大橋正隆(高8回)  
住所 名古屋市中区  
白鷺1-27の2の301  
電話 052(972)7663  
総会日 未定

関西支部

支部長 大塚機(高12回)  
住所 奈良市朱雀2丁目1-7  
電話 0742(71)7098  
総会日 平成25年9月14日  
会場 ホテル・ウィアール大阪

来年度の支部総会は、7月下旬袋井市総合センターにて開催を予定しております。本年同様多数の同窓生の皆様のお越しをお待ちしております。

# 故郷の周辺をたずねて

## — 池田の歴史とまつり —

文・写真：大村至広（高48回）  
磐田市教育委員会 文化財課 副主任

取材：鈴木昭次（高12回）



### 池田の鎮守 天白神社

池田の中町に所在する天白神社は、孝謙天皇の御世（749〜758）に勧請されたと伝えられる神社で、猿田彦命を祀っています。

天白神社は信州を中心に東北・関東から東海・伊勢志摩にかけて多く分布する神社です。

江戸時代の記録では、池田村の氏神として天白神社のほか、八王子・水神・若宮の四社は夫々四神を祀り、大明神と呼ばれていました。残されている絵図によると、現在地よりも北東の場所に祀られていたことがわかります。

明治時代になると、国家によって神社の尊厳を維持し、神社崇敬を高めるといふ国策が進められました。この動きを受けて、明治7年に若宮八幡宮を郷社とし、近隣の村々に祀られていた氏神が若宮八幡宮に集められ、合祀されることになりました。

池田の氏神も合祀されたことで、一旦は神社がなくなり、氏神が遠くになってしまったことで、地域のよりどころがなくなり、寂しい思いを抱いた人たちが多かったようです。氏神を復活させようという動きがいくつかの村で出てきます。池田でも、明治の終わりに現在の豊田西保育園の場所で再び天白神社を祀りはじめました。大正3年に現在の場所に神社を移転し、大正5年に正式に許可を得ました。

現在の拝殿は昭和42年に新築されたものです。



天白神社例祭 屋台

### 天白神社の祭り と 奉納相撲

江戸時代の記録では、池田村の祭りは、毎年1月11日に大般若経を奉納し、9月18日に秋祭りを挙げています。

祭りの余興として、奉納相撲が行われました。天竜川を挟んで東西に分かれ、「池田の喧嘩相撲」として有名でした。江戸時代の紀行文では、渡船が見物客で朝から夜まで大変な賑わいであったことが記されています。

江戸の相撲年寄の追手風義長が天保4年（1833）9月に四本柱の土俵を作ることを許可しています。いかに相撲が盛んであったかを示すエピソードです。

池田の神社が若宮八幡宮に合祀されたことで、祭りも相撲も一旦途絶えてしまいました。天白神社が再建されたことで祭りも奉納相撲も復活しました。今年の祭りは10月6日、7日に行われました。

屋台は明治年間には既に引き回されていたといわれています。昭和初期には9台の屋台があり、現在は4つの地区に分かれ、屋台を引かします。

### 平安の美女・熊野

池田には熊野御前の伝説が伝わっています。熊野御前は、池田庄の庄司（荘園の役人）、藤原重徳の娘で、紀伊の熊野権現に祈願して生まれたので、熊野と名づけられたといわれています。

熊野は京で平宗盛（平清盛の三男）に仕え、寵愛を受けました。母の病気を知った熊野が宗盛に暇乞いをするのですが、宗盛は聞き入れず、清水寺へ花見へ誘います。熊野は宴席で、

いかにせむ 都の春もをしけれど なれしあづまの 花や散るらむ

と和歌を詠みます。感動した宗盛は熊野が故郷へ帰ることを許しました。

以上が伝説の概要です。才色ともに優れ、和歌の道にも通じており、孝行であったことから、女性の手本とされました。

熊野御前の名前・伝説が広く知られるようになったのは謡曲「熊野」がつくられたことによります。作者は世阿弥とも金春禅竹とも言われますが、室町時代の



観光大使お披露目式

作であることは間違いないようです。

熊野は春の能の代表作であり、「熊野松風に米の飯」と呼ばれるように、何度見ても飽きない能の名作とされます。



熊野の長フジ

### 熊野の長フジ

行興寺は母の死後、熊野が母の冥福を祈ってお堂を建てたのが始まりといわれています。熊野は藤の木を愛しており、境内に植えられたものが熊野の長藤と伝えられます。現在の木は代が変わっていますが、樹齢数百年といわれます。

熊野にゆかりのある長藤は、1本が国の、5本が県の天然記念物に指定されています。

4月下旬から5月上旬にかけて境内は藤の花が満開になります。花の房の長さは1メートル以上にもなります。

また、境内には熊野と母親のもと伝えられる供養塔が残されています。（磐田市指定史跡）

熊野の供養塔

### 池田長藤まつり

長藤まつりは、藤の花が咲く時期に合わせて開催され、多くの人で賑わいます。

平成24年の長藤まつりは、4月22日から5月6日まで開催され、能や演奏、踊り、長藤マラソン、渡船まつりなどのイベントが行われました。

藤娘に扮した観光大使のお披露目式も行われ、今年の「熊野」が誕生します。

### 池田の渡船場

池田は天竜川の渡し場として有名です。記録によれば平安時代にまでさかのぼります。池田は東海道の見付宿と浜松宿との相の宿として交通上重要な場所でした。歌川広重の東海道五十三次見附をはじめとして、浮世絵の題材としても多く用いられました。

戦国時代、磐田市域は徳川と武田の抗争の舞台となります。徳川家康が浜松まで退却する際に、池田の渡船場が船を出し、武田軍の追撃をかわして無事に天竜川を渡ることができたと伝えられています。天正元年（1573）にこの功績から、池田の船頭衆は徳川家康から、渡船を行う独占権を認められました。

当初は、地形の良い場所を選んで渡船を行っていましたが、17世紀半ばには池田の地先に渡船の場所が確定しました。渡し場は上・中・下の3ヶ所があり、天竜川の水量によって、どの渡し場から船を出すかが決められました。

池田の船頭衆は徳川家康から、渡船を行う独占権を認められました。

当初家康から特権を与えられた船守は35軒でしたが、延享元年（1744）の記録では、渡船に関わる渡船方として216軒が記載されていることから、6倍近くに増加していることとなります。

天竜川堤防近くに池田渡船跡の石碑が建つほか、池田歴史の風景館が建ち、当時の様子を紹介しています。

天竜川に橋が常設的に架けられるのは明治時代以降のことですが、臨時の船橋が設けられることがありました。古くは鎌倉四代將軍頼経の上洛の際に設けられ、江戸時代の朝鮮通信使や東京へ向かう明治天皇も船橋を渡りました。



池田渡船場跡の石碑

### 池田橋

池田橋は天竜川を渡る渡船のルートに明治16年（1883）に架橋された木橋です。長さ四二九間（772メートル）、幅9尺（27メートル）で、有料でした。木製のため天竜川の洪水で何度も流失しました。橋が流された時には、渡船が復活しました。

昭和8年、国道に鉄橋である天竜川橋が完成したため、廃止となりました。

池田橋

平成23年に池田橋の橋脚跡の一部が天竜川の河川敷から見つかりました。天竜川堤防には池田橋があったことを示す石碑が建っています。

麦わらで大きな屋根を作り、多くのホオズキ提灯を付けて、天竜川まで運び、燃やして水に流すという、町の諸病・諸厄を焼き尽くして流し去る祭りです。祇園祭りにつながる伝統的な民俗行事であり、磐田市が無形民俗文化財に指定されています。池田の夏の風物詩となっています。

午前中に麦わらを束ねて直径50センチほどの長い束を作り、上下に3本ずつ并桁に重ねてよく縛り、上の3本の束の真ん中に3本の長い担ぎ棒を差します。麦わらの束の台座の上に新竹の柱を立てて間口1.5メートル、奥行2メートルほどのやかたの形に組んで、屋根を茅で葺きます。屋根の周りには、家ごとに災厄防除の祈願文を墨書した赤いホオズキ提灯をぶら下げます。夕方6時半に神事をしてから、全ての提灯に火を灯したやかたを若衆が担ぎ、「津島天王」と書いた高張提灯を先頭にして、掛け声をかけながら、堤防を越えます。河原に下りた後は、水際まで運び、麦わらに火を付け、水に流して終わります。



池田やかたまつり

今年のかた祭りは8月5日に行われました。

# 米国にきた半世紀前の日本人について

高11回 柴本崇行



## プロフィール

カリフォルニア大学デイビス校 環境科学部教授。世界中の農業を調べている農業研究の権威。「世界を変える100人の日本人」(テレビ東京)で2009年2月に「食の安全を守る天才学者」として放映されました。

早いもので南高を卒業して54年になります。80周年記念の際に講演に招かれてからも10年になります。その当時に学んでおられた方々も社会人として家族を持たれている方が多いと思います。このほど原稿を頼まれることになりました。この主題を考えたのですが、年の功を利用して半世紀前の海外での日本人について語ってみたいと思います。



キャンパス



柴本研究室

ら来て2、3日して日本語がしゃべり難くなったとか、日本語が変になってしまったり等、言い出して片言の日本語でしゃべりだすのが一種の自慢であり自己顕示でした。中には、日本語を話すとき英語を憶えないと言ったり、日本人との接触をいっさい切ってしまう者もいました。言語学者に言わせると、母国語を話さなくなるとむしろ言語力そのものが劣ってくるそうです。私は米国でもおおいに日本語を話してよしいと思います。但し、日本語の分からない人が居る時は出来る限り英語を使うのがマナーと考えます。私は米国に渡って50年近くになりますが、いまだに英語より日本語の方がずっとしゃべり易く、新聞は当地で手に入る朝日新聞、テレビのドラマはDVDレンタルで日本の連続ドラマとかミステリーを楽しんでいます。それに、当時、他の日本人に町とかレストランで出くわした時はお互いに睨みあって、野良犬が勢力権を主張している所で行き違う様な態度をとりました。その当時の旅行評論家がこのことを評しておもしろいことを言っていました。当時、日本から外国に来れるのは大変なことで、自分の様な偉い人間しか来れないと思っていると、他に日本人が現れると自然に敵愾心が湧いて来てその様な態度をとるのだと言っていました。正直言って私もそんな感覚を当時持ちました。多分、日本人で現在70歳を越した方々には同じ経験がお有りだと思います。今は死語になりましたが、それが「島国根性」だと言われ分かった様な分からない様な気分になりました。

# 『混合教育』の学園

学校法人武蔵野東学園 理事長 高15回 寺田欣司



## プロフィール

昭和42年東大法学部卒業。銀行支店長、シンクタンク研究主幹、大学講師を経て、学校法人武蔵野東学園理事長に就任。他に杏林大学参与、磐田信用金庫顧問などを兼務。著書多数。

東京の武蔵野市に、自閉症児と健常児と一緒に教育するユニークな私立学園があります。私は25



# 卒業生は

# 今

## 農学は面白い

高24回 鈴木滋彦



静岡大学教授・農学部 長・日本学術会議連携 会員・国際木質科学アカデミーフェロー

昭和47年に磐田南高等学校を卒業しました。これまで忙しく、あわただしく過ぎてきました。改めて驚いています。中村憲右、五味勝明、亀山雅司の3先生にクラ

年前に自分の娘2人をおこの学校に入れて以来、学園と深いかわりを持ち、9年前乞われて理事長に就任し今日に至っています。学園の創立は約50年前、現在幼小中高合計1700名の児童生徒が在籍しています。その中に450人ほどの自閉症児が含まれています。これまで卒業していった自閉症児は千人以上に上ります。

また付属の教育センターでは、自閉症児に限らず発達障害を抱える子ども440名を教育しています。一教育機関が900名近い障害児を教育する例は世界のどこにもありません。また自閉症児教育の世界では、創立者北原キヨが開発した「生活療法」が、有力な自閉症児教育のメソッドとして、世界的に高い評価を得ています。北原キヨはこの「生活療法」の発案者として、アメリカポリーリンググリーン大学の名誉博士号を授与され、またアメリカ政府は学園の自閉症児教育を高く評価して星条旗を贈ってくれました。学園は25年前にボストンに自閉症児教育専門の機関を開校しましたが、これは今ではマサチューセッツ州が所管する特殊教育機関の一つとして、150名ほどの自閉症児を中心に障害児の教育に当たっています。

自閉症児と健常児を同じキャンパスで教育する

ことは、昨今叫ばれている「心の教育」として国からも注目されています。学園はこれを「混合教育」と呼びます。混合教育のメリットは、自閉症児を理解している児童生徒に囲まれその刺激を受けることで、自閉症児たちの発達が促されること、健常児たちは他者に対する思いやりの心を育むことができることにあります。学園の教育目標は「社会自立できる子どもを育てる」ことで、自閉症児には職業訓練を、健常児にはその希望進路に応じて、職業訓練や学習指導を行っています。

学園の高校は正しくは高等専修学校で、基本的には自閉症児の職業訓練校です。しかし健常児も毎年数十名入学してきます。彼らの多くは中学時代、不登校や非行の経験を持っていますが、高校に入って自閉症児と接して自分を取り戻し、大学受験に挑戦したり、より高度の専門技能取得を目指します。ですから学園の高校を卒業する生徒には、昨今社会問題化しているニートは一人もいません。

磐田南高校は伝統的に教職を目指す卒業生が多い学校です。世の中にはこんな学校もあるのかと、進路選択の一つに加えてくれればありがたいですね。

みは変わっていませんが、学術としての農学は「生命科学」や「生物系」に分類され、従来の第一次産業技術の向上に重点をおいた農学から、生命・食料・資源・環境などをキーワードとする先端的な応用科学へと舵をきってきました。これまで、稲・野菜・魚・牛・昆虫・樹木、微生物は別々の学科が担当していましたが、遺伝子レベルの研究では垣根がなくなるなど、科学技術の進歩は研究分野の構造変化をもたらしました。大学の学部学科の構造変化と同時に、農学に課せられたミッションにも変化をもたらしました。一次産業に関わる技術を基礎におきつつ、生態系の中で環境を保全し、食料や生物資材の生産を基盤とする学術分野へと進化しています。

また、昨年の震災の後、農学へ寄せられる期待感が強まったように感じています。衣食住の重要性や農学が生活と深く関わっていることが再認識されたのでしょうか。命をつなぐこと、生活することの意味が問われているものと考えられます。

さて、中学生・高校生のお子さん・お孫さんをお持ちの同窓会会員の皆様へ。農学は面白いですよ。お勧めいただけますでしょうか。

# 自然の絆 ~東日本大震災に思うこと~

高10回 内藤俊彦



東日本大震災の後、津波被害調査を行った陸前高田松原にて、すべての赤松が背丈ほどのところで引きちぎられている。【理学博士 静岡・福島・宮城県などで環境問題に取り組んでこる】

ヒトは動物という生物です。生物は自然界の中でお互いに作用と反作用を行っています。また、食う食われるの関係にもあります。例えば、植物プランクトンは動物プランクトンなどにエネルギーを与えて生命を維持し、動物プランクトンは水生小動物にエネルギーを送り、水生小動物は小型魚類などにエネルギーを与え、というように次第に大型の動物にエネルギーが移動しながら自然は日々進化と消滅を繰り返しています。緑色植物は光合成によりエネルギーを蓄積し、草食動物たちを養っています。肉食動物は肉食動物の餌として命を育んでいます。生態

た。ここでも素材を無為に利用しすぎると自然の絆は崩壊してしまいます。木造の家を作るのに森林を伐採し過ぎると山地崩壊や土砂崩れを発生し、人々は生命の危機に瀕します。衣に関するのは木綿、絹などが利用されています。ここでも環境容量以上に利用すると自然との絆は崩壊します。

平成23年3月11日の東日本大震災によって地震とそれに伴う津波によって東日本から北日本の太平洋沿岸は甚大な被害を受けました。日本の海岸景観である白砂青松は壊滅状態になってしまいました。私は宮城県内の震災復興環境検討に関わっていますが、津波被害を受けて海岸から数キロまでの間の自然の回復について

て絆を分断しないような形の復興をしたいと考えています。平安時代の貞観年間から千年目の大津波であったと言われています。この千年間にどのように自然は絆を回復してきたのかは誰も記録を残していないようです。是非これから千年間の間の自然の絆の回復を記録する基礎調査を行うこと

によって、同じような災害に遭遇した時の対処の仕方を考える事が出来ると思っています。ヒトは現代科学という手段によって自然の絆を切断してきました。その結果が地球温暖化、生物種の絶滅などとして最近話題になっているのではないのでしょうか。

# 絆



## 独立から得たもの

高53回 飯田侑希

デザイナーを志した私は、美大に進学した後、電機メーカーのデザイン部門に就職。それから5年後、経験とスキルを身につけた私は独立してデザイン事務所を設立。今に至っている。

■プロダクト・デザイナー  
彼の作品は、みなさんのおなじみのメーカーにも採用されています。

磐南を卒業してから11年が経つ。まずは簡単にこの11年の身の上話をしよう。

一口にデザインと言っても様々な分野があるが、私の専門は電化製品や家具などの工業製品。平たく言えばスケッチを描いて図面をひいて、他社より安くよくて売れるデザインを提供するのが仕事だ。

皮肉なもので、自分の力だけで何か成し遂げたい！と思い独立したはずが、結局は以前よりもっと多くの人に迷惑をかけ、お世話になってしまっていた。

ここで言いたいのは、人の善意を利用すればいいということではない。人は支え合い助け合うことで生きていく。このことは去年の震災以降、日本中が再認識した私たちの根源的な才能だ。自慢ではないが、私はこれからも多くの人の助けになつてしまおう自信がある。だからこそ自分も誰かを助けることができるように、もっと成長していきたいと思う。

## 磐南卒でよかったと

高33回 池野(旧姓永井)みり

学校創立90周年 おめでとうござります。

そんな素敵な節目の年に、この欄の原稿を依頼されたものの、さて何を書けばよいのやら。

私が細々と脚本家の仕事をしているというので(現在はアニメ『ちびまる子ちゃん』の脚本を担当しています)スラスラ書けるだろうと思われたのかもしれないが、私が全くそんなことはありません。申し訳ないです。どうもすみません。それでも「何でもいいのです」とおっしゃって下さったのを

何だかしみじみ思うのだ



日本脚本家連盟所属 ※お嬢さんが描いたみりさん。かわいい...

お願い致します。

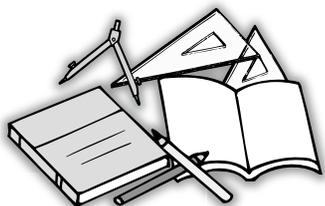
私は関東に住んでいます。磐南を離れたことで私の中の「磐南」の存在感も確実に薄れていました。そもそも在学当時、地味な生徒でしたし、思い出さ

ることはやらにゃいかん」というマジメな磐南気質により同級生たちと久しぶりに再会。同級生たちも流石みんなマジメで。能力の高さにも、まあ磐南なんだから当然っちゃー当然なん

しょうけど、私、はあ〜と感心しましたねえ。そしてそこから先輩や後輩とも交流のきっかけに。それからアララ、シワシワと「磐南」卒業生との繋がりが少しずつ広がってゆきました。

磐南の先輩から誘われてフェイスブックを始め、こちらでもゆ〜くりと卒業生の方々と交流をさせてもらっています。先輩の、あの押し強い誘い方に今は感謝しています。あれくらい押されなくちゃ私は登録しなかつたでしょうから。

磐南を卒業して30年の今が一番「磐南」卒業生としての自分を実感している気がします。磐南って、卒業してからこんなにおもしろいんですね。



# 小田原山の

## 見中魂を今に伝える



在校生による防風堤の草刈り H24.7.10

### 90周年を祝って

第17代同窓会長  
高5回 江間金作

#### 建学の精神、脈々と

静岡県立見付中学校は大正11年4月、この磐田原の大地に産声を上げました。90年の歳月が流れ、今や県内屈指の進学校となった磐田南高校は、創立以来の建学の精神が脈々と息づいている点で、特異な学校でもあります。

#### 質実剛健・文武両道

開校時、初代校長・尾崎楠馬、初代教頭・小田原勇両先生の発案による教育方針として、質実剛健・文武両道の気風を養い、地域に貢献する人材の育成を指すべく、心身の鍛錬を主眼とした労働教育が掲げられました。師弟同行を合言葉に、率先垂範して汗を流

#### 小田原山に顕彰碑

また、縁あって拝命した自身の同窓会長任期中に、労働教育の象徴である防風堤（通称小田原山）の中腹に、山内克巳先輩揮毫による顕彰碑を建立できたことは幸いなことでした。このたびの記念事業として、正面面に移設された尾崎先生頌徳之碑とともに、温かく厳しく在校生の姿を日々見守っています。

#### 尾崎教育基金

初代校長の名をいただいた尾崎教育基金は、先生の御意志により御遺産を基に設立され、その後、趣旨に賛同された多くの同窓生を始め、協力者の皆さまの篤志も合わせて現在に至っています。在校生の国際交流、スポーツ・芸術・文化の充実などに大いに活用されています。大正・昭和・平成の三代にわたり、戦前・戦中・戦

後の時代の推移と共に、本校は限らない成長・発展を遂げています。

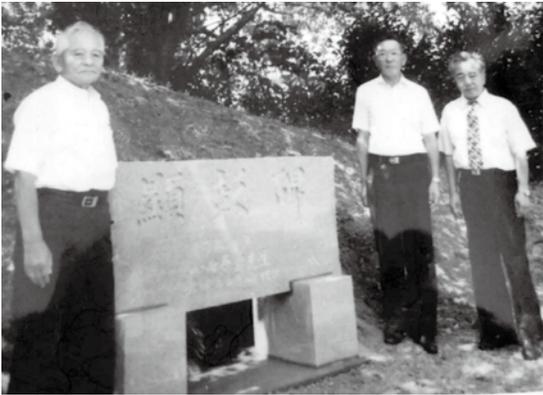
#### 文部科学省指定SSH

文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として、3期10余年に及ぶ先進的な実践は、高度な理数教育の牽引高として、県内はもとより全国的にも注目されています。

#### 世に貢献できる人材に

まさに、今の、そして未来の磐田南高校生においても、この学び舎で過ごす3年間が、我々同窓生にとってのものと同じく心身の鍛錬の場として、心の奥深く未永く刻まれることを願います。

同時に、こころを巣立ち世に出るにあたっては、時代は大いに貢献できる人材になられるよう祈念いたします。



小田原勇先生顕彰碑除幕式にて H8.8.18  
(上) 左から、見中3回山内克巳元磐田市長 (H24.8.16逝去)、高5回江間金作第17代同窓会長、高8回梅葉修司同窓会副会長 (当時) (H24.6.23逝去)  
(下) 除幕式に集った方々。顕彰碑を囲んで



## 100周年に向けて

高14回 橋本洋子

#### 龍馬に繋がる見中魂

尾崎楠馬先生の建学の精神が、坂本龍馬に繋がることばかりでした。

きっかけは、昨年6月に可睡齋で明治天皇銅像が見つかり、側近・田中光顕伯爵の出身地、高知への関心が高まっていることを、高26回木村晃治さんが知らせてくれたことからです。

#### 見中魂は「考える村」に

まもなく、遠藤亮平前静

岡県教育長らが、そのいきさつを解明しようと高知に向きました。私は、その調査報告から、龍馬と楠馬先生を繋ぐ糸口を見つけ、その鍵は「考える村」にあるとの思いに至りました。

#### 11回目の高知訪問

それで、母校90周年の機に、私は今年3月31日から4月2日、11回目の高知訪問をしました。

平成16年4月に大橋忍第19代会長を団長に同窓会として訪問して以来の「考える村」は、当時のままに生き生きとしていました。

#### 自然の中に人間の

生き方を考える

村を開設した当時の人達は亡くなり、代がかわっていましたが、「自然の中に人



考える村の「考堂」 H24.4.1  
左上は、村の窓口の大西智予さん

間の生き方を考える」という哲学がしっかりと受け継がれていました。私の訪問目的を大西さんが大変喜んでくださり、持参した同窓会だよりを理事会で紹介していただけることになりました。

#### 楠馬先生の

子孫が高校教師に

本間翠さん（楠馬先生の妹の長男の妻）にもお会いできました。翠さんの孫が、広島で公立高校の理科の先生をされているとのこと

#### 高知と川島先生との

交流が不可欠

これから、100周年に向けて、高知と川島先生との交流が不可欠という思いでいっぱいです。



同窓会として高知「考える村」を訪問 H16.4.10

した。川島謙一先生です。

#### 質実剛健に尽きる

建学の精神は、質実剛健に尽きるという確信を得、とても爽やかな清々しい気持ちで、腰骨を立てて帰途につきました。

小田原山

小田原山 質実剛健

小田原山は、「教育は人をつくるにあり。中学は入学試験の予備校に非ず。真の勉強は、人格陶冶、真理探究にありて点数の為に非ず。人をつくる根底には心身両面の鍛錬を要す。鍛錬なき所に真の人なし。新教育は作業教育のもとに全てを統一し右顧左眡すべからず」と進言した。正に、勤労体験学習を通しての人間としての在り方・生き方を教育を志向したのである。

上の桑原允嗣先生の文「小田原山」から抜粋

平成7年12月20日発行 磐田南高新聞より

# 魂は永遠に

## 訪問インタビュー 見中5回 友田好さん



創立90周年記念の特集号に相応しい大先輩として見中5回の友田好さんを7月5日、袋井のご自宅に訪問し、インタビューをさせていただきました。

### 労作教育の精神は必要

見付中にはどのような通われましてか。

友田 匂坂さんというお醬油屋さんへ厄介になって、学校に通ったげんがね。その頃は、おやじはまだ富士の小学校の校長をやっていたもんですからね。  
—入学時はどんな服装でしたか。  
友田 和服だったかも知れんなあ。4月は作業したり、何かするには都合が悪いもんですから、じき服(学生服)になったと思います。夏と冬は区別がありましたね。服装はやかましかったですね。  
—生徒の時、一番思い出に残っていることは。  
友田 当時はねえ、労作教育というか、そういうところへ力を入れていましたね。

もちろん、勉強にも力を入れていましたけど。

### 労作教育について

—週日課に作業時間が組み込まれていましたか、また、どんな作業をやりましたか。  
友田 作業時間ね。そんな時があったかいな、どうだいな。ただ、早い時分には草が伸びるし、いろいろな仕事はいくらでもあったんですよ。運動場の整備とかは、もっこを担いでやりましたね。結構やりましたよ。ド力中と言われるだけに。  
—運動場の整備以外にどんな作業がありましたか。  
友田 土手・スタンドの草。舎内の庭の木なんかもやりましたね。教室で自習をするということも少なかった

ですね。先生が欠席すると何かしらの仕事をもらったですね。  
—掃除も徹底してやったようですが、どうでしたか。  
友田 朝の部屋の掃除などは、やかましかったですね。中の掃除は厳しかったです。廊下とか窓のガラスとかはきれいにしていましたね。先生がいるからやるのではなく…。外の運動場はもう整備されていたんです。

### 小田原山について

—小田原山は防風堤のどの場所ですか。  
友田 小田原山と言うのはね、運動場の西の北の隅だね。そこが、一段と高くなっていますから、小田原山ね。  
—入学当時から小田原山と聞いていましたか。  
友田 私たちが入ったのは5回ですから、たいがい(防風堤)が出来ていたところ。小田原山と言っていたでしょうね。私たちが入った時には、プールを掘る仕事が始まったからね。

### 尾崎楠馬校長先生について

—尾崎楠馬校長はどんな先生でしたか。  
友田 立派な先生でしたね。いろいろな何でもやられたですね。国漢の先生です。だから、詩も作るし字ももうまいし、詩を作っちゃんと掛け軸にまことめたり、なんでも立派にできたですね。話もうまかったですね。

—教育の柱として、強調したことはどんなことでしたか。  
友田 やっぱ道徳教育は、やかましかったですね。作法とか。そういうものが厳しかったですね。勉強はさせましたよ。非常に厳しいところがあったですね。やはり土佐の人ですから。高知県のあの辺は一番厳しいところですね。  
—教育理念である質実剛健文武両道の話はされましたか。  
友田 質実剛健はしょっちゅう聞いたことがありますがね。文武両道は言っていましたよね。その当時は、文だけでなく武だけでなく文武両道で偏りはなかったですね。校長室にある額には質実剛健と文武両道の文字が書いてありましたね。講堂にもあったし。

—小田原勇教頭先生について  
—一番印象に残っていることは何ですか。  
友田 そうねえ、あの当時は尾崎校長と非常に密接な関係にあったと思います。学校に勤めた若い時分、あれは土浦の同じ学校に勤め、見付中学も一緒に、仲良くやっていたようですよ。小田原先生はそれは厳しい先生でしたね。尾崎校長先生は非常に温厚な先生でしたね。名コンビでしたね、あの二人は。

—質実剛健と労作教育の精神をこれからも引き継ぐことは必要ですか。  
友田 精神教育も必要でしょうね。やっぱりけじめは付けたほうがいいですよ。勉強の面でもだらしなくやっていたでは駄目ですよ。ともかく、自律する、

自分をだらしなくしては駄目でしょうね。

友田好先生は本年8月、99歳の白寿を迎えられますが、質問には快く、丁寧にお答えいただき、誠実な人柄が伺えました。

### 「質実剛健」であるといふこと

「質実剛健」とは磐南の校訓の一つである。しかし、入学以来あまり校訓を意識したことがなく、意味まで深く考えたことはなかった。原稿執筆にあたり、改めて四字熟語辞典で調べてみると、「飾り気がなく、まじめで、心身ともに健康で強くたくましい様子」とあった。それを意識して生活したところ、ぴったりの場面があった。

「質実剛健」であるといふこと、徒も多い。それでもサボることなく、心折れることなく最後まで泳ぎ切っていた。感動の場面を目にした！

そのことに私は少し感動したのだが、それだけでは終わらなかった。ある生徒が泣いていたのだ。どうやら自分の泳ぎに納得できずにいたようだった。彼女は最も泳ぎが苦手な人のコーズに属していて、おそらく「泳ぎ切るのがやっと」だったと思う。私はつい「泳ぎ切ったのだからいいじゃないか」と言いたくなってしまうが、彼女にとってはそれだけではなかったのだらう。

思い返してみれば、彼女は何事にも「真剣至誠」だ。授業終了後に先生に質問をしに行くし、部活もしっかりとやっている。勉強を疎

かにしている様子は全くなく「文武両道」でもある。かと言って真面目でお堅いという印象はなく、快活で面白い生徒だ。私は彼女こそ磐南の校訓を体現している生徒だと思った。

今、校訓に向き合う  
このような心がけは人に言われてできるものではなく、自分自身で意識するしかない。普段の学校生活の中であまり校訓を意識することはないし、考える機会もない。

今、真剣に校訓について考え、向き合う機会を与えて下さったことに本当に感謝している。

残り数ヶ月  
「質実剛健」に努めたい  
磐南生でいられる残り数ヶ月、「質実剛健」でいられるよう努めようと思う。そして私が彼女に感化されたよう、私が誰かを感化させられるようになりたい。



見付中学 防風堤作業 大正15年



見付中学 運動場草地ならし 北東を望む 大正15年



武末知一著『労作教育の実践』



高25 回 戸塚幸将・後藤剛・広瀬尚史著『磐南の道程』



高26 回 青島秀樹著『校歌・応援歌ものがたり』

### 母校愛あふれる著書・DVD紹介

- 水泳部
- 見7回 牧野正蔵
  - 昭和7年第10回ロースアゼルスオリンピック 1500m自由形銀メダル
  - 昭和11年第11回ベルリンオリンピック 400m自由形銅メダル
  - 見9回 寺田登
  - 昭和11年第11回ベルリンオリンピック 1500m自由形金メダル
  - 見10回 杉浦重雄
  - 昭和11年第11回ベルリンオリンピック 800mリレー自由形金メダル

# 先輩の偉大な足跡

- 陸上競技部
- 昭和22年第29回 インターミドル優勝
  - 昭和23年第1回 インターハイ優勝
  - 昭和27年第5回 インターハイ優勝
  - 昭和29年第7回 インターハイ優勝
  - 昭和32年第10回 インターハイ準優勝
  - 昭和35年第13回 インターハイ準優勝
  - 昭和36年第14回 インターハイ準優勝
  - 昭和47年第25回 インターハイ優勝

## 牧野正蔵君のこと



飯田 賢さん

見中7回 飯田賢さん談

我々7回生は入学した時には150名。それが3クラスに分かれて、卒業するまで5年間1人の級監(担任)に受け持たれました。



母校を飾る水上三傑 杉浦重雄君 牧野正蔵君 寺田登君

## 磐田南高陸上栄光の礎

見中11回 伊藤英一



伊藤菊造先生(右)と(同窓会だより22号より)

全国中等学校の大会をインターミドルと称し、第一回が1919年(大正8年)東大で開催、慶応商工が優勝した。最後の第29回大会は1947年(昭和22年)京都で開催され、見付中学が優勝した。翌年学制改革で高校となりインターハイとなった。以後の成績は次の通りである。1回大会(昭和23年・名

私は牧野君とは違うクラスでしたが牧野君は1年生の時からお名手でした。何しろすごい水泳選手でした。しかし彼は遠征に行っているときが多くて同じクラスの中でもなかなか話をする機会がなかったように思います。水泳大会に応援に行こうにも、東京だのアメリカだの、遠方の試合ばかりでしたからね。学校にいるときは一般の生徒と全く変わりありませんでした。むしろおとなしい生徒だったと記憶しています。水の監督は英語の小林先生でした。水泳の練習の時はどうだったか知らないが英語の授業では優しい先生でしたよ。



大場章蔵さん

寺田君とは同じクラス、同じ水泳部員でよい仲間でした。放課後になると寺田

## 2012ロンドン五輪 水・陸活躍の源

技や陸上棒高跳の県大会で入賞した伊藤菊造先生(見中9回)を現在の日体大に進学をすすめ、ご自分が中泉高女(現磐田西高)に転出(昭和18年)するに際し、後任に教え兒25歳の菊造先生を迎えた。

菊造先生は、他校は運動場を芋畑にしていたが生徒の精神力・体力強化のため運動場で鍛えて工場への勤労員に対処、1945年(昭和20年)8月終戦、9月学校再開。伊藤先生はいち早く陸上競技部に生徒を集め、他校をリードした。翌年春には、記録会・オリンピック村社選手を招いたり、早大競走部を呼んだり、新種目のハンマー投げでは生

徒とともに日大金本先生の教えを受けたりし、研修を重ねられ県大会・東海大会の予選突破に集中指導した。地元近隣の方々「また一枚」と伊藤家の田畑を心配することもあったと云う。

同窓会より「熱血指導 伊藤菊造先生全国制覇」と云う題で、10000字程度の依頼が当初公益財団法人スズキ教育文化財団評議員の筒井昭氏(高7)にありお鉢が私に回ってきた。私は、優勝者や記録でなく教え兒の一思い出、所感をと考え後輩諸氏に尋ねた。

(敬称略)小池芳雄(高1)、小杉栄一(高1)、中島武彦(高2)、大橋敏宏(高2)、金澤成光(高4)、佐藤芳雄

藤姓となり、私と同じ長野小学区(磐田市小島)に住むことになりました。たまたま同学区には見中の水泳部出身者が勢揃い。山内克巳元磐田市長(見中3回)、水泳部キャプテンだった山内武(見中4回)さんらの発案で、長野小に25mプールを作ろうという話を持ち上がりました。当時私は長野小のPTA会長として奔走し、昭和35年8月の竣工式において、寺田君に世界一のクロールを披露してもらった次第です。祝詞をあげてもらった古田清神主(旧姓鈴木 見中9回)と共に同級生3人がそろったことも良い思い出になっています。

(聞き手 袴田悦子、鈴木智子) 現在は奥様と一緒に生活を楽んでいらっしゃるご様子でした。

(高5)、中村修(高5)、大庭勝良(高7)、筒井昭(高7)、松村吉郎(高13)、山下真里(高15)等。

うち金澤・佐藤・中村・大庭・筒井の各氏より大型封筒で戴いた。いずれの方々も今の自分は「ティーチャー」のおかげとあった。厳しい指導の中に愛情があったと思われる。

県教育委員会表彰規定により、伊藤菊造先生が1986年(昭和64年)、特例中特例で、功労表彰を受けられた。これはまさに、磐田南陸上栄光の礎を作った伊藤菊造先生と教え兒との合作による「金メダル」である。ここに先生のご真福を祈り掲筆する。

今から81年前の昭和6年4月あこがれの見付中学校に入学しました。正門、校舎、運動場、防風堤、庭園、花壇、プール等すべて行きどいた監督がされていて心がひきままりました。

夏になると毎日のように水泳指導が行われ1年生全員が最低50メートルは泳げるようになりました。3メートル、5メートルの跳び込みは勇気のいるものでした。1年先輩の伊藤菊造さんが5メートルからジャックナイフなどの妙技を見せて下さったことは今でもよく覚えています。後年母校の体育教師となって陸上競技で全国制覇をなさったことはありがたいことでした。

2年生の時2年先輩の牧野正蔵さんがロースアゼルスオリンピックの1500メートル自由形で準優勝されましたことは大きな喜びであり、水泳に益々親しみをもちました。

1年先輩の寺田登さんもめきめき成果を上げて将来を期待されていました。同級生の杉浦重雄君は名前のようによい体格でした。先輩の水泳部員がその才能を見抜き厳しい指導をされておりました。見中3回の山内克巳(後の磐田市市長)さんが自宅に下宿させて、生活指導、栄養指導、精神力の養成に気を配っていたようでした。

プールは尾崎楠馬校長、小田原勇教頭の労作教育による教師と生徒の手造りのもので、いつもありがたうという気持ちで泳ぎました。プールは校地の西南にあり、近くに自転車置き場がありました。私共は授業に間に合うように登校するのですが、その時は杉浦君たちは泳いでおりました。授業が始まる時にはきちっと服装を整えて落ちついて学んでいました。

放課後は各自がそれぞれの部で所定の活動をして帰宅しましたが杉浦君たちは更におそくまで練習をしていたようでした。

私共が卒業した昭和11年ベルリンオリンピックで牧野正蔵選手が400メートル自由形で第3位、寺田登選手が1500メートル自由形で優勝、杉浦重雄選手が800メートルリレーの第2泳者で優勝の栄冠を勝ちとることができました。1校で3名の名選手が大活躍をしたことを喜ぶとともに、目標に向かって努力することの大切さを深く教えられました。

後年同級会によく杉浦君が出席され、健闘をたたえられました。70才でお亡くなりになりましたことは誠に残念でした。

## 杉浦重雄君800mR

見中10回 鈴木芳郎



友人達と 右から2人目が鈴木さん



# 静岡県立磐田南高等学校 創立90周年記念式典

【日時】平成24年11月14日(水曜日)12時45分から  
【会場】磐田市民文化会館



▲尾崎楠馬先生 開校式にて配布された記念写真帖より

## ■ 学校創立90周年記念式典

12:45 開式  
 90周年記念事業実行委員長挨拶 後援会理事長  
 90周年記念式辞 校長  
 来賓祝辞 来賓  
 祝辞と目録の贈呈 同窓会長  
 生徒代表謝辞  
 校歌斉唱  
 閉式

## ■ 記念行事

「国際地学オリンピックを振り返って」  
発表 高63回 川島崇志さん(東京大学在学)

## ■ 記念講演

「生命をとらえなおす一動的平衡の視点から」  
講師 福岡伸一氏(青山学院大学教授 生物学)

閉会

## 「90周年記念誌」発行予定 (学校紹介DVD付)

### 80周年～90周年までの10年間の記録

【特集】部活動の10年 SSHの10年  
マウンテンビュー高校との交流20年  
尾崎先生頌徳之碑移設ドキュメント  
耐震工事の記録 など



創立60周年を経て竣工した「はぐま会館」と、創立90周年を記念して東門(旧正門)から現正門に移設された「尾崎先生頌徳之碑」とその由来文。



本年4月来校したマウンテンビュー高校のみなさん。「尾崎教育基金」によるこの国際交流事業も今年で20年です。(醍醐荘にて)

## 創立90周年 同窓会事業

### ① 「尾崎先生頌徳之碑」移設事業

長年東門(旧正門)脇にあったが、正門に移設し、由来文も設置した。

### ③ 90周年記念募金活動

12,491,000円(平成24年10月10日現在)

### ② 「回想録」第2号の刊行

旧制見付中学校16回生～高校4回生の回想録の刊行。

### ④ 21世紀の南高生を育てる教育資金援助

尾崎教育振興基金の充実(奨励事業・国際交流事業)

ここに、資料等をお寄せいただいた見中20回柏原博一さん、見中21回佐野尚男さん、高1回(見中22回)小杉榮一さん、高2回(見中23回)高田岩男さん、高3回織田武さん・菱田真さん、高4回新井清作さん・金澤成光さん・鈴木ま起さん

このことは、同窓会名簿に記載されている卒業年次回数(見中21回)から高校4回まで(見中21回)の事実の一部が示されているからです。今回、創立90周年記念事業の一環として、回想録第2号を発刊するにあたり原稿を募集しました。この件に関する原稿や資料等をいただき、改めて、事の大きさに驚いたところです。

編集委員会としても、10月発行の同窓会だよりに混乱期の年次移行についてご提供をいただいた資料をもとに図表を載せ、その歴史を明らかにすることが必要であると考へ、本号に掲載いたしました。

戦中・戦後の母教は、当時の世相や新教育制度への移行を反映し、在学期間を始め校名の変更等々まさに混乱期における学生時代でありました。取り分け、戦時下には、修学年限を5年から4年に繰り上げて対応したこと、終戦後の新学制に伴う見中卒と高校卒の混在、さらには第一高等学校の改名、そして、磐田南高等学校への校名変更がありました。

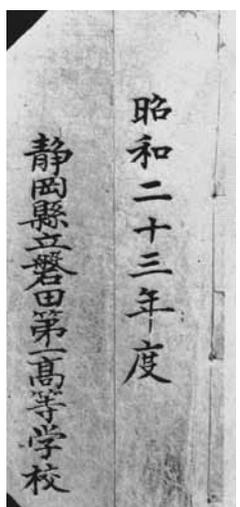
このことは、同窓会名簿に記載されている卒業年次回数(見中21回)から高校4回まで(見中21回)の事実の一部が示されているからです。今回、創立90周年記念事業の一環として、回想録第2号を発刊するにあたり原稿を募集しました。この件に関する原稿や資料等をいただき、改めて、事の大きさに驚いたところです。

## 検証「見付中学から磐田南高校への移行」

戦中・戦後の母教は、当時の世相や新教育制度への移行を反映し、在学期間を始め校名の変更等々まさに混乱期における学生時代でありました。取り分け、戦時下には、修学年限を5年から4年に繰り上げて対応したこと、終戦後の新学制に伴う見中卒と高校卒の混在、さらには第一高等学校の改名、そして、磐田南高等学校への校名変更がありました。

### 【移行年表】

開戦	昭和16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
見中20回				見中4年卒①										*①4年生全員繰り上げ卒業
		見中21回		見中4年卒	見中5年卒									*②見中4年卒か、5年卒か進路選択
			見中22回		②選択	見中5年卒	高1回							*③見中5年卒か、高校か進路選択(入試なしで高3) ④学制改革により、校名は磐田第一高等学校
			見中23回			見中4年	見中5年卒	高2回						*⑤見中4年時に見中か、高校かの進路選択(入試なしで高2) ⑥校名を磐田南高等学校と改名
					(*見中24回相当)		⑦併設中3年		高3回					*⑦新学制により磐田第一高併設中となる ⑧併設中卒業か、高校かの進路選択(入試なしで高1)
							(*見中25回相当)	⑩併設中3年		高4回				*⑨⑩新学制により磐田第一高併設中となる ⑪併設中卒業か、高校かの進路選択(入試なしで高1) ⑫新制中から1クラス高校入試により入学、見付高女から入学により共学
								⑨併設中2年	⑪選択 ⑫南高1年	南高2年	南高3年卒			
									⑫南高入試	南高1年	南高2年	南高3年卒		*⑫見中入試から全員高校入試に変更



磐田第一高等学校の校名入り帳簿表紙(出典:創立50周年記念誌)

母校は、大正11年に創立されて以来、平成24年に90周年を迎えます。今回は、見中16回〜高4回の皆様に「思い出」を綴っていただき、回想録第2号を発刊いたしました。紙面の都合上一部抜粋掲載いたしました。本年は、85名の中、43名、高1までの皆様の「質実剛健」のもと、貴重な思い出メッセージをお届けいたします。

**学校時代の思い出**

見中16回 加藤芳朗

質実剛健。冬の耐寒訓練（毎朝）はグラウンド周回走（尾崎校長が先頭）、その後の教室での上半身裸の乾布摩擦、授業科目の「作業」で校内の草むしりに励んだ。この種の肉体労働は、農村出身の諸君と異なり、町育ちの身にはしんどかった。このためきびしい蹴球部の練習や戦後の耐乏生活をなんとか乗り切れた。



▲勤労奉仕作業

**労作教育の成果にあり**

見中16回 柴田茂久雄

「オリンピック」の成果は、何といっても小林一牧野の師弟愛と師弟同行の指導の成果が主軸となっており、それに応えた仲間たちが結果として根性を発揮して発憤興起した成果であり、小林一山内コンビの指導の賜物であった。つまり、尾崎校長の建学の理念がここに結実したものである。一と一ということにならうか。妄言多謝。

**見中に入塾して**

見中16回 正久十三男

私は周智郡の気多村から

**基礎体力が身についた**

見中18回 山内好朗

小生にとっては誠に貴重な学生時代だったと云うのは中学5年間において生きる上で最も必要な「基礎体力」を身につけることが出来たことです。現在86才となりこれ迄の人生・無病息災・医者いらずで生きて来られたのも中学生時代の基礎体力のお蔭と思っております。



▲思い出の校門

**生徒動員に思う**

見中19回 鈴木直之

昭和19年1月、私達5年生の約70名は、明野飛行部隊に動員となり8月1日に入隊する。戦闘機の整備と補修のため、軍人や軍属と一体になり、国土防衛のために昼夜の別なく挺身する。5月3日に至り、学科講堂や補修隊舎を取り壊し、さらに6日には戦闘機の格納庫までも解体に着手。あの日本の教育の悲劇は許してはならない。

**追憶**

見中18回 鈴木和夫

私の父は職業軍人でした。田河水泡描く漫画の「のらくろ」そっくりの軍隊生活でした。病の身でありながら父は勇躍、嬉々として任地へ赴きました。羅南駅頭で父を送ったのが生きた父を見る最後でした。葬儀を済まして私の胸に抱かれた父を浜松駅頭で尾崎校長先生が出迎えて下さいました。生涯忘れられることは出来ません。

**戦時中の見付中学**

見中18回 平野重樹

私が見付中学に入塾した昭和14年は支那事変勃発の1年ばかり後でした。私共は尾崎校長のもと文武両道、質実剛健をモットーに黒い制服にゲートルを巻き凛々しい姿での登下校でした。行交う先生、上級生

**良き師とのめぐり合い**

見中20回 櫻井貞彦

昭和50年から36年、一般対象の野外観察会をやっております。見中2年の時倉橋穂長先生にすすめられた2冊の本を読んで、自然現象に対する興味が増すと同時に、「学問についての疑問は、安易に答だけを求めず、自分の可能な限り文献等を調べて解決しなさい。」と言う無言の師の教えでした。良き師にめぐり合い本当に幸せ者です。

**戦時下の学生生活**

見中20回 鈴木正則

昭和16年4月入学早々より軍事教練が教科に組込まれた。学年が進むに従い38式歩兵銃を持つての本格的な訓練になり、銃を担いで校外の行軍や軍歌演習、天竜川河原での野営訓練、防具を着けての銃剣術や実弾射撃が行はれた。20年3月、4年卒業となり工場の一隅で卒業式が行はれた。

**私達の見中**

見中20回 中島通雄

昭和19年8月に伊藤惣先生、倉橋先生、黒沢先生、伊藤菊造先生諸先生も交替で一緒に寮生活をされた。その年の12月に東海大地震

**70年前の記憶**

見中21回 杉田英雄

戦争が厳しくなり軍隊を志願し海軍の飛行予科練習生として土浦航空隊に入隊。8月15日、玉音放送があり戦争の終結を知りました。



▲軍事教練

**開戦から終戦後まで**

見中21回 鈴木欣三

中学3年の夏休みは記憶にない。戦争の激化で工場に働く人が戦地へその穴うめに動員がかけられた。駅から4キロ以上離れた者は専売局へ、近い人は日本楽器大工工場プロペラ製造へ。私は遠い駒場の燈台裏です。自転車で見付工場まで走った。

**受難の中・3**

見中21回 鈴木正

学習から離れた無念さとは別に、生死に係わる天災にも見舞われた。それは、動員開始年の昭和19年12月7日午後1時半頃に発生した東南海地震（M8.0）である。私は、屋外に建造物がなく安全ではあるが、距離の最も長い南出口に向った。建物が倒壊、私も地面に倒れ、目の前からすべてが消えていった。

**「人生25年」も叶わず**

見中21回 高橋練二

記憶と記録片々

**秩父宮賜杯授与式にて**

高校1回 小杉栄一

「ブル、グラウンド更には防風堤まで含めてすべて開校当時の教師生徒の協同作業で作上げた」と聞いている。非常に立派な事と感心している。「以上は昭和23年3月23日御殿場市の秩父宮別邸で行われた秩父宮賜杯授与式における秩父宮殿下のお言葉である。前年8月京都西京極陸上競技場で行われた第29回全国中等学校陸上競技大会優勝校にこの年から授与される事になった。」

**学校時代の思い出**

見中22回 鈴木信雄

近頃では道徳を忘れた者が多いように思われる。大切な事は組織の中においては、道徳を守ること。地位の高い人、年上の人に敬意を払うと云う態度は当たり前なルールである。若い人達とつき合ってみて、このような考え方は古くさいのではないかと疑問を抱く事さもある。しかし、ルールを知らないような人間なら、相手にされなくなり、その責任はすべて自分にあると知るべきである。

**後輩に望むこと**

見中22回 松本道男

私は自然を科学的に解明しようとして、農芸化学分野を専攻した。終戦当時の思い出

見中22回 松本道男

（国語）（松下先生担当）先生は松尾芭蕉の「奥の細道」を最初から黒板にチョークで書いてゆき、それを生徒達が鉛筆でノートに写し、授業が進められました。その記憶に残る部分は、序章：月日は百代の過客にして、ゆきかう年も又旅人也。：平泉・夏草や兵どもが夢の跡

**昭和20年5月19日**

高校1回 竹中彪

「空襲警報発令!!」は壕の中で。大きな音と同時に泥と煙が壕内、顔へ猛烈にかかる。「逃げる」。壕の奥からの大声。逃げた。走った。疎林の土手が見えた。先客が多数。近くの工場での動員生徒、村人、赤子をおぶったお母さん、ことも、お年より。やがて爆音もなくなり帰る。誰れもない。母が鞆をもつて帰宅。「見付の小生が何人も空襲を受け、掘り出したり介抱したりえらい騒ぎ。今やっと帰って来た。」



▲蹴球班

**高校1回生（見中最終生）**

高校1回 原野谷末雄

私の実家は昔からの農家で、子供でも働かされ、兄や姉が弟たちに教え育てるのが普通であった。自然を大切に利用し感謝するのが当然であると教えられた。そのような時代と環境から、私は自然を科学的に解明しようとして、農芸化学分野を専攻した。

**終戦当時の思い出**

見中22回 松本道男

（国語）（松下先生担当）先生は松尾芭蕉の「奥の細道」を最初から黒板にチョークで書いてゆき、それを生徒達が鉛筆でノートに写し、授業が進められました。その記憶に残る部分は、序章：月日は百代の過客にして、ゆきかう年も又旅人也。：平泉・夏草や兵どもが夢の跡

**見中時代の回想**

高校1回 水野貞雄

昭和20年8月15日の終戦の詔勅は浜松の戦場に戻って聞いた。戦争の終わった安堵感と、やっとゆっくり本が読めると嬉しかった。私は小学校の頃から本が好きで、父貞一（国漢教諭）の本棚から明治大正文学全集など片端から読んで、二俣

**見中時代の回想**

高校1回 水野貞雄

昭和20年8月15日の終戦の詔勅は浜松の戦場に戻って聞いた。戦争の終わった安堵感と、やっとゆっくり本が読めると嬉しかった。私は小学校の頃から本が好きで、父貞一（国漢教諭）の本棚から明治大正文学全集など片端から読んで、二俣

**々に馳せて**

長兄に連れられて中泉の下宿に来た。「走って来い」と言うのを「飛んで来い」と私が言う。「また気多弁が出た、鳥のように舞って来るのか」と言われた。学習に部活の剣道にまた休み時間に良い友人に恵まれて充実した5年間を送る事が出来た。山家の猿は楽しかった。

思い出

見中17回 木船賢一郎  
軍事教練。授業がはじまると生徒が緊張しました。服装検査、持物検査などありました。1年生から上級生になるにしたがって鉄砲の使用を学びました。生徒が緊張したのは、国語・数学・英語・武道・体育と同様に評価して点数をだしたので、主観の評価でした。卒業に教練評価が重大な要素でした。

作業

見中18回 天野喜勝  
机の上も「作業」である。「聴く・習う・覚える・試す」という「作業」を繰り返す。それが5年間続く。自然に「4つの字句」の「作業」が染みついてくる。仕事に就いた後、「4つの字句」の「作業」に「選ぶ・括弧」が加わる。そして「モノ・コト」を任される。

70年前の思い出

見中18回 岩崎正男  
今から70年前の私は、サッカーに夢中になっていた見中3年生だった。その頃、見付中学と言えば古風な質実剛健型の校風と見なされがちであったが、70年前に磐田でサッカーが行われていたことはほとんど知られていないが、運動場の西にあるサッカー場や防風堤の桜はよく知っていると思う。

「八十路坂孫らの集い」嬉しくて吾子の配慮に只々感謝す」  
下校まで素足で過ごした5年間でした。

思い出

見中18回 山下伸三  
尾崎楠馬校長先生の思い出を一ツ書きます。校長先生はどんなに暑くても蝶ネクタイで上着を着て冬はどんなに寒くてもオーバーを着ることはありません。立派な先生でした。正門の右側に石碑が立っています。このような先生は他には居られないと思います。校長先生の訓育はノートをとることは出来ません。

初代校長「尾崎楠馬」の名前の由来(略称)  
見中19回 佐藤清司  
平成15年2月、同窓生有志で先生の50回忌法要を行い、翌年4月高知の生誕地を14名で訪れた。親類縁者から系図を知り「楠馬」の名前のヒントを掴んだ。先生は「尾崎徳次郎・楠」の長男、母の弟は「楠吉」ここまでくると「楠」は母・叔父の2人から、「馬」は「坂本龍馬」にあやかるべく「馬」を載いた？と勝手に納得した。



▲尾崎楠馬先生ご夫妻結婚25年記念写真

師の愛(生徒は知らず)

見中18回 米倉富郎  
佐野熊吉校長。戦争中の昭和17年見中に着任された。瘦身に謹厳。

佐野校長の厳しさの裏にどんなに温かな優しい生徒への愛があったか。そして生徒の行く先を見守り幸せを思う教育者の眞の姿が隠されていたことを私は知った。私には佐野熊吉校長、武村寛先生お2人への感謝の気持ちがつきまわることな

「八十路坂孫らの集い」嬉しくて吾子の配慮に只々感謝す」  
下校まで素足で過ごした5年間でした。

思い出

見中19回 和田太平  
昭和15年4月4日憧れの

下の勅諭奉読後一數萬人の中から選ばれた諸君は天皇陛下の御座として天下の少年飛行兵たる誇りと自覚を持ち国家の爲に盡せ。」との訓示有り、誉れの家と成る。

# 青春の思い出

卒業間近の或る日学校で味噌汁を戴いた。肉が入っていた。生まれて初めて口にするものであった。楽しい思い出で等とは凡そ無縁のまま学窓を去る私達への、先生方からの饒であった。通用門内側正面で飼われていた一匹の豚は姿を消していた。

在学時代の思い出

見中21回 鷹野毅  
戦闘帽と名札づきの国防色の制服、そしてゲートル着用の姿で通学、更に軍事教練、森町へ夜行軍、国防競技、秋葉山までの一泊行軍、そして冬の寒い早朝自転車通学へ一剣道場での厳しい指導を受ける。寒稽古である。

が発生した。学校での生活は実質3年と一学期で諸先輩と較べれば少ないのだが、それだけ濃縮されたもののように感じる。色々あったがいつまでも見中学生でよかったと思っていた。

戦中戦後の見中時代

見中21回 佐野尚男  
4年生の8月、終戦で久しぶりに見中に戻った。教科書が無かった国語では藤沢先生が漱石の草枕などの文を黒板一杯に書かれ、各自ノートに写してから学習したのだ。

4年で卒業と5年へ進むのが同級生の半数ずつになった。5年へ進んだ私達も、上級学校入学試験が5月にあり、3分の1が6月に中途退学進学した。

見中時代の思い出

見中21回 新貝重哉  
5年間の見中時代は戦時色一色でした。ゲートルが落ちないように強く巻くと、足が痛くて歩けなくなるので、少しゆるく巻くと落ちてしまい、慣れるまでは苦労をしました。帽子は戦闘帽でしたが、黒い学生帽の生徒もいました。ズボンの横のポケットは縫いつけて寒い時でも手を入れること

はできませんでした。卒業間近の或る日学校で味噌汁を戴いた。肉が入っていた。生まれて初めて口にするものであった。楽しい思い出で等とは凡そ無縁のまま学窓を去る私達への、先生方からの饒であった。通用門内側正面で飼われていた一匹の豚は姿を消していた。

夏の記憶

高校1回 神谷清  
妙にギラギラした光の記憶が強い夏だった。我々は中学3年生。当時見付にあった専売局へ生徒動員されていた。毎朝、中泉の駅から学校の前を素通りして工場へ通勤した。仕事は刻み煙草「みのり」の製造で、緊張と重労働の毎日であった。

思い出すまじ

高校1回 木村和夫  
高校第1回卒業生と言えば、見付中学校の最後の学生であると同時に新制第1回生でもあった。私の同期生の中には、新制大学発足と同時に旧制教育制度の学生も新制大学受験の資格を与えられていたので、新制大学へ進学する者も多かった。

学生時代の体験

見中22回 小池芳雄  
昭和22年第29回全国中等学校陸上競技対抗選手権大会にて総合優勝を果した。私は400メートルの2走者で優勝もした。磐田駅に迎えられた大勢の皆さんに、主将として凱旋の挨拶をした感激は生涯忘れられません。以後、全国優勝4回、準優勝3回という陸上王國を天下に知らしめたものとして建てられた。

生徒動員

高校1回 野村郁夫  
今にも墜落しそうな、高度3000米、時速50キロの飛行機の窓を開けて、まさに死なんとして手を振っている、飛行眼鏡をかけた若い飛行士。まさまじと見えるんです。そして、その姿を見上げている私達中学生に敬礼をして天竜川原を過ぎす若い飛行士。私達も全員が泣き最敬礼をして送る程なく、東方の天竜川から墜落した黒煙が見えてくる。

バスケット大会に出場  
高校1回 中島幸男 (旧姓/鈴木)  
2年生を中心にチームワークよく猛練習をした結果東海大会に出場できた。他にどうして出場できたか、第一、その頃浜松西高が強かった。負けの連続でしたが、遂に勝った。第二、磐田北高の体育館天井の高いコートで練習。第三、顧問に都築渉先生、コーチに長谷川三門さん(見中14回卒)を迎え適切な指導を受けたことです。

北のまほろばの夢

高校1回 錦織英夫  
在学当時、水泳プール記念館に「寮生」として周智郡、磐田郡、浜名郡の学生らが10人生活。「皆、北のまほろばを夢見て」仲良く暮らした。近くに「遠江国分寺」があり奈良時代、仏教の功德で災いを防ぎ、鎮護国家を思うと考えた聖武天皇(741)によって蝦夷のうち大和に一番近い見付の地に蝦夷地区の本部として建てられた。

の通勤の途中でも南総里見八犬伝を読みふけていたので、平和になったことが本当に有難かった。  
戦中から戦後へ  
高校1回 武藤萬  
物資が欠乏し食糧難は深刻で、学校で弁当さえ食べられてしまう始末でした。自転車のチューブがなく、かわりに縄を入れましたが3日ともちません。クチゴムのかわりに、ヒルやミミズを使いましたが物になりませんでした。消ゴムにはタイヤを切っただけで指の唾の方が良かったと覚えています。私達の学年は学制変更で5年卒業と高校第1回卒業の二通りにわかれま



▲陸上部 インターミドル (22年)・第1回インターハイ (23年) 連続優勝



▲軍事教練

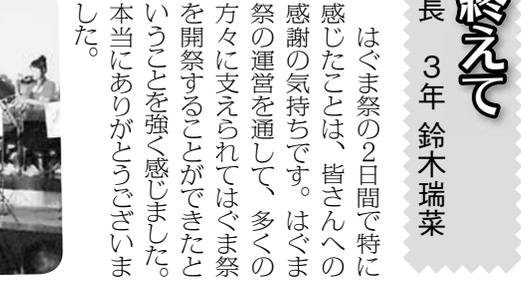
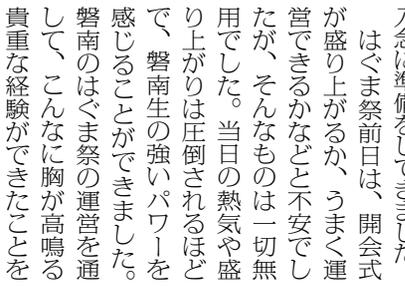
# はぐま祭を終えて

生徒会長 3年 鈴木瑞菜

今年も多くの方々にご来場頂き、はぐま祭を無事に終えることができました。終わってみればあっという間ですが、この2日間のために多くの団体が何か月も前から準備を始めてきました。生徒会本部では、新企画や新オリジナルグッズなど磐南創立90周年の年に相応しいはぐま祭になるよう、入念に準備をしてきました。

はぐま祭前日は、開会式が盛り上がるか、うまく運営できるかなどと不安でしたが、そんなものは一切無用でした。当日の熱気や盛り上がりは圧倒されるほどで、磐南生の強いパワーを感じることができました。磐南のはぐま祭の運営を通して、こんなに胸が高鳴る貴重な経験ができたことを嬉しく思います。

はぐま祭の2日間で特に感じたことは、皆さんへの感謝の気持ちです。はぐま祭の運営を通して、多くの方々に支えられてはぐま祭を開祭することができたということに強く感じました。本当にありがとうございました。



# 磐田南高校に入学して

1年 勝亦祐太

私は進学先の高等学校を選ぶ時に、「自分の力を存分に発揮できる学校は磐田南高校しかない。」と思い、受験しました。実際に入学してみると、クラスには向上心の強い人、真面目に学習する人が多く、たいへん良い刺激を受けています。また、雰囲気も落ち着いていて、自分の学力を伸ばすには最適な環境です。65分の授業は内容が濃く、しかもペースが早く、全く退屈しません。中学生の時にはなかった予習復習の習慣も自然に身に付きました。また、私は男子バレー部に所属していますが、先輩たちは明るく愉快な方ばかりです。勉強と部活動の両立は非常に大変ですが、やりがいがあり、充実した生活を過ごすことができます。創立90周年を迎える伝統ある磐南の生徒となることができ、日々自分の成長を実感しています。ここで学べることに感謝し、在学の3年間で自分の可能性をどれだけ広げることができるかたいへん楽しみです。



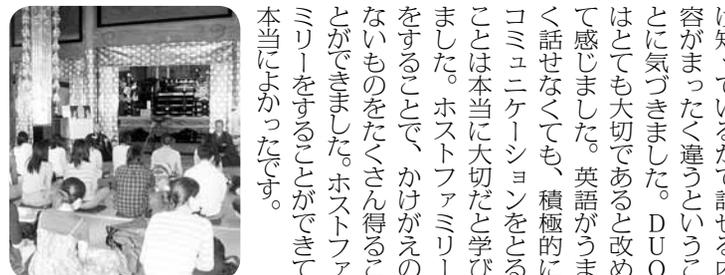
# マウンテンビュー 留学生受け入れ

コミュニケーションの大切さ 2年 鈴木友里恵

英語力をもっと身につけたい 3年 青野 栞

はじめは、「英語がどこまで通じるのか」「コミュニケーションがとれるのか」など不安な思いでいっぱいでした。ホームステイ初日はお互いになかなか英語が通じませんでした。しかし過ごす日々が長くなればなるほど、英語が通じ、話をするのがとても楽しくなりました。うまく通じないときは、ジェスチャーをして単語ばかりで会話しました。単語をどれだけ知っているかで話せる内容がまったく違うということに気づきました。DUOはとても大切であると改めて感じました。英語がうまく話せなくても、積極的にコミュニケーションをとることは本当に大切だと学びました。ホストファミリーをするので、かけがえのないものをたくさん得ることができました。ホストファミリーをすることができて本当によかったです。

今回はMVの生徒を受け入れるという形で、MVでホームステイをするときよりもっと自分の英語力が必要だと感じました。お風呂の使い方や食べ物、建物の説明などをやるのが大変で、ジェスチャーやある程度の単語で伝わることも多いですが、自分ももっと英語を話せば、MVの子にも、もっといい体験をさせてあげられたのかなと思いました。日本独特の場所に連れて行くのもよかったです。普段私たちが行っているスパーや文具屋などに連れて行くのもかなり喜ばれました。前回のMV訪問もそうでしたが、今回も自分にとってとても貴重な体験となりました。海の向こうに友達ができてもうれしいです。



# 磐田南高校書道部と「はぐま楽書会」

磐田南高校書道部は1年生6名、2年生9名、3年生13人の合計28人で活動しています。米田先生、永岩先生の御指導のもと、今年度の「はぐま祭」では、「書道ガールズ」などで皆さんにおなじみの、共同で大作を一気に書き上げる「書道パフォーマンス」を実施しました(写真①)。「煌め

飯田弘治さんの呼びかけで集まった五人の方が出品して第一回展をスタートさせたものです。今年の三月に第十四回展を磐田市立文化振興センターで開催しました(写真②)。スタートから年々会員も増えて、第十回では立派な記念作品集も刊行されました。

書道部は毎年開催される静岡県高等学校総合文化祭書道部門に出品する作品を「はぐま楽書会」の方にも出品しています。みなさんぜひご来場ください。

なわ「はぐま楽書会」では会員を募集しています。皆で書道に親しみ、愛好する心情を養っていきましょうという趣旨です。多くの方々の入会をお待ちしております。



写真②

け 未来の道」と書いてあります。「煌」の字は本年度「はぐま祭」の統一テーマでもあります。

また本校の卒業生で書道を愛好する人たちが作っている「はぐま楽書会」という同好会があります。平成14年に高校第3回卒業生の



写真①

連絡先 はぐま楽書会  
会長 松下昌司  
〒438-0026  
磐田市西貝塚1560  
☎0538-347011

# 大学合格状況

(数字は過年度卒を含む合格者延べ数)

国立大学	人数	国立大学	人数
北海道	5	香川	2
弘前	1	九州	2
東北	6	九州工業	1
茨城	2	国立大学合格合計	139
筑波	1		
千葉	3	公立大学	人数
お茶の水女子	2	高崎経済	2
電気通信	5	首都大学東京	2
東京	1	国際教養	1
東京医科歯科	1	山梨県立	2
東京外国語	2	愛知県立	1
東京学芸	1	静岡県立	5
東京工業	3	静岡文化芸術	1
一橋	3	名古屋市立	1
東京農工	1	滋賀県立	2
横浜国立	5	岡山県立	1
新潟	1	公立大学合格合計	18
金沢	5		
山梨	6	主要私立大学	人数
信州	2	早稲田	17
静岡(人文)	10	慶應	11
静岡(教育)	12	立教	15
静岡(理)	1	明治	19
静岡(工)	10	法政	11
浜松医科(医-医)	5	上智	8
浜松医科(医-看護)	3	国際基督教	1
豊橋技術科学	1	東京理科	25
名古屋	11	青山学院	8
名古屋工業	2	中央	30
三重	2	津田塾	2
京都	8	常葉学園	21
大阪	4	南山	5
神戸	1	立命館	35
鳥取	1	同志社	46
島根	2	関西	13
広島	4	関西学院	7

# 在校生の活躍

## 野球部

- 第94回全国高等学校野球選手権静岡大会  
磐田南高校 4-5 沼津東高校 (延長13回)



## 囲碁部

- 県総文祭囲碁部門男子団体優勝  
出沢 祐樹 (主将) / 出沢 良樹 (副将) / 古田 哲康 (三将)
- 東海地区高校生囲碁選手権大会 (岐阜県羽島市) 男子団体優勝
- 第36回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 (東京日本棋院) 男子団体戦 磐田南高校 第5位 男子個人戦 出沢 良樹 第8位
- 全国高等学校総合文化祭 富山県大会  
個人戦に出沢 良樹、静岡県チーム (団体戦) に出沢 祐樹出場。静岡県チーム第12位。



## 水泳部 (水球)

- JOC (ジュニア・オリンピック・カップ) ピシーナ静岡 (女子水球チーム) \*13人中本校生徒5人 ベスト8  
ピシーナ静岡 4-4 京都 延長戦後Vゴール勝ち  
ピシーナ静岡 3-9 鹿児島  
...「厳しい戦いでした。Vゴール勝ちが嬉しかったです。」 (杉山 和 (のどか) さん談)



## 東海高校総体 (岐阜県)

- 男子水球 第4位  
男子水球予選リーグ 磐田南高校 17-9 稲生 決勝リーグ 磐田南高校 5-7 名古屋高校  
磐田南高校 3-10 四日市中央工業高  
磐田南高校 3-8 大垣東高校  
...「東海大会の前、チームの調子が今ひとつで心配だったが、直前のミーティングからよく集中したと思う。対名古屋高校戦は勝ちたかったが、最後に2点入れられてしまった。」 (野田君談)



## 陸上部

- 東海高校新人陸上大会  
服部 達哉 (400mH) 第3位  
佐伯悠里香 (やり投げ) 第15位
- 全国総体 (新潟)  
服部 達哉 (400mH) 準決勝進出  
...「調子は悪くありませんでしたが、自己ベストには及ばない53秒5というタイムで、力を出し切れなかった感じです。全国大会はやはりレベルが高いという印象でした。」 (服部君談)



## 生物部

- 黒川直社・中村一貴 日本植物学会 高校生研究ポスター発表会  
紫台茶 花色変化のメカニズム 最優秀賞



## 地学部

- 全国高等学校総合文化祭富山大会  
自然科学部門 奨励賞受賞



## SSH

- 平成24年度SSH生徒研究発表会 (神奈川県横浜市) ポスター発表賞
- 化学グランプリ2012 銅賞 大木 圭佑



## ビジュアル部

- 全国高等学校総合文化祭富山大会出場  
井本 麗、河合 真花 出場  
...「富山大会では、他県の写真の展示を鑑賞できました。特に秋田県の人々の写真で、震災の写真が6枚組み合わせた作品が印象に残りました。撮影会では相倉会掌造り集落などに行き、写真を撮りました。」 (井本麗さん談)



# 開校記念の杯

高14回橋本洋子

音楽を通しての知人である坪井貞夫さん(磐田バツハ合唱団主宰)から、平成18年5月13日(土)にいただきました。

当時、坪井さんは骨董が好きで、身近な縁のある物を集めていました。日用雑器の中からの杯を見つけ、何年か手元に置いていましたが、自分は掛川西高校出身なので、私にということでした。

数年ぶりに電話すると「貴女と出会っていなかったら、あの杯は捨てられていたかもしれない。貴女にもわたるのが、むしろ奇跡だね。」

この電話を機に、再び交流が始まりました。



「静岡県立見付中学校開校記念」と書かれている

人・出会い・感動……そして発見



袋井駅前 TEL.(0538)43-1212  
比那 純 (高15回)

総合建設業



ISO9001 14001認証

# 石川建設株式会社

磐田市今之浦5丁目1-1  
TEL (0538) 36-0021

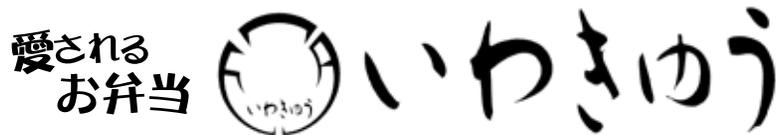
地域に密着した医療を目指します

内科・小児科 **木佐森医院**

院長 木佐森正樹 (高25回)

〒438-0077 磐田市国府台55-1  
TEL.0538-32-2555

一般及び寝たきり老人 往診応需  
禁煙治療(保険可)



鷹野 三平 (見中8回) 鷹野 靖 (高15回)

〒438-0814 磐田市気子島961  
TEL 0538-36-9261 FAX 0538-37-3572

記念限定品

## 磐田南高等学校 創立90周年記念 卒業メモリアル・ベア

[ANNIVERSARY 90th BAN-NAN]足裏ワッペン付

お申込締切日:2012年11月30日



女子:冬服  
13,400円(税込)

女子:夏服  
13,200円(税込)

男子:冬服  
14,500円(税込)

ご注文受付中!!

<http://www.memorial-bear.com>

制服のキンバラ

代表取締役社長  
金原 一平(高16回)  
磐田市見付1963-11

navi CO.,LTD.

販売元:株式会社ナビ  
浜松市東区篠ヶ瀬町1021  
bear@japan-navi.com



応援します あなたの笑顔

## 磐田信用金庫

〒438-0078 磐田市中泉578番地1  
TEL.0538-32-5110・FAX.0538-34-8021  
<http://www.iwashin.co.jp/>

## 磐田脳神経外科病院

脳ドック検診受けは随時

院長 金子的 実 (高21回)

〒438-0086 静岡県磐田市見付1766番地の1  
TEL (0538)34-1111 FAX (0538)32-1441

<http://www.iwatanoge.com>

処方せん受付 **キヨシオピン** **サハリス**

# 国府台薬局

磐田市国府台94-3 TEL 35-2175  
鈴木 敬三(高9回) 鈴木麻里奈(高38回)



和の心 贈ります

## かしゆう 菓子勇本店



6代目店主 山田 佳幸 (高28回)  
磐田市中泉坂上町2988 TEL・FAX 0538-32-3340

# 長尾 仁 税理士事務所

税理士 長尾 仁 (高20回)

〒438-0086 磐田市見付3719-1  
TEL.0538-35-9221 FAX.0538-32-8735

# NAC ナックフィーディング株式会社

本社・工場 〒438-0002 静岡県磐田市大久保117-3 TEL.(0538) 38-2666[代表]  
東京営業所 〒142-0051 東京都品川区平塚1-15-2 TEL.(03) 6426-9286

<http://www.nacweb.co.jp>

代表取締役社長 深見 康弘 (高15回)

# 原田和義 税理士事務所

税理士 原田 和義(高20回)

静岡県袋井市国本2493-7  
TEL&FAX 0538-43-2462

レンタル 建設仮設材レンタル 人材 人材紹介・派遣サービス  
請負 クサビ式足場請負 機械 仮設材清掃機販売

# site 株式会社 サイト

安心の須山建設グループ

代表取締役 大庭 義信(高20回)

本社 浜松市西区伊左地町2790-1 ☎(053)485-4126(代)  
東遠営業所 掛川市大坂6369 ☎(0537)72-4129  
人材事業部 ☎0120-452-310

<http://www.your-site.co.jp>

# THE FOREST Country Club ザ・フォレストC.C



変化に富んだ3コース(橘・一宮・天竜)27ホールズが魅力  
コンペ・プライベートにご利用を!!

コース 〒437-0227 静岡県周智郡森町橘576-3  
TEL.0538-85-4141(代) FAX.0538-85-4758

# Photo by Shiki シイキ写真館

椎木 宏(高2回) 椎木 厚(高3回)  
椎木泰行(高6回) 椎木雅章(高33回) 椎木隆太(高37回)

本店/磐田市加茂川通り Phone(0538)32-6435  
浜松店/ホテルコンコルド浜松3F Phone(053)452-1231  
愛野店/フォトスタジオアミュール Phone(0538)43-5225

さわやかな環境をクリエイト

# BANNAN

磐南浄化槽株式会社

代表取締役社長  
木戸 智弘(高34回)

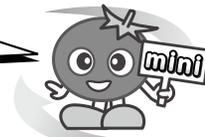
磐田市下岡田358-2 ☎36-0051 FAX 37-6622

多目的 電気の乾燥庫

# ドラッピーmini

新登場  
超小型でも  
大型サイズと同じ性能!

「干し野菜や  
ドライフルーツづくりが  
手軽にできます。」  
「お弁当や飲み物・食材の  
保温にも便利です。」



タテ484×ヨコ325×奥380mm

静岡製機株式会社 <http://www.shizuoka-seiki.co.jp/>  
営業本部/〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 TEL(0538)23-2822

ブランドリサイクル

# PickUP

宮竹店・西伊場店・磐田店・掛川店  
古着バザール宮竹店

株式会社 **ピックアップジャパン**

金・ブランド買取専門店

# キンバリー

浜松高林店・浜松向宿店  
静岡SBS通り店・藤枝インター店

本部 磐田市今之浦3-4-2  
URL: <http://www.pickup-japan.com>

地球環境にやさしく、60年以上安心して  
快適に住み続けられる住まいの提供

# セキスイハイム東海

浜松市中区板屋町111-2(アクトタワー25階) 〒430-7725  
TEL:053-453-4560 FAX:053-453-4537  
ホームページアドレス <http://www.816t.jp>

ネジ 小物部品・締結部品・  
精密ネジ部品

ISO9001 認証取得  
ISO14001

# 株式会社 マルイチ

代表取締役 安間 信義(高7回)  
専務取締役 安間 浩彦(高33回)  
取締役 松島 孝久(高17回)

本社 〒430-0898 浜松市南区瓜内町540  
TEL(053)441-4684(代) FAX(053)441-3452

# TK 株式会社 タニコー



あなたの大切な人を救う緊急救助用



高33回 水谷 眞啓 高33回 青山 光男(旧姓 金原)  
磐田市南平松5番地 TEL 0538-67-1880(代) FAX 0538-67-1881  
mizutanim@taniko.co.jp <http://www.taniko.co.jp>

# 会計報告

## 平成24年度磐田南高校同窓会会計予算

### 収入 平成24年4月1日～25年3月31日 (単位:円)

科目	金額	備考
同窓会入会金	3,804,000	平成24年3月卒業生317名×12,000円
預金利息・配当金	50,000	
寄付金	200,000	卒業40周年寄付金(高24回生)
雑収入	250,000	同窓会報広告代等
前年度繰越金	211,410	
合計	4,515,410	

### 支出 (単位:円)

科目	金額	備考
<b>会務費</b>	1,760,000	
会議費	350,000	役員会・評議員会等会議費
総会・慰霊祭費等	500,000	同窓会総会・慰霊祭費用等
支部総会・年次運営費等	630,000	支部総会助成・祝儀・旅費等
慶弔費	170,000	転退職餞別・慶弔費等
事務費	100,000	通信費・事務費等
事務局費	10,000	人件費・交通費
<b>事業費</b>	2,740,000	
卒業記念品代	200,000	校章入り印鑑
会報発行費	2,200,000	同窓会報編集・印刷・郵送費等
教育振興費	150,000	東海大会等出場選手激励金
諸費	190,000	ホームページ運営費
<b>予備費</b>	15,410	
予備費	15,410	
合計	4,515,410	

## 平成23年度磐田南高校同窓会会計決算

### 収入 平成23年4月1日～24年3月31日 (単位:円)

科目	金額	備考
同窓会入会金	3,200,000	平成23年3月卒業生320名分
預金利息・配当金	36,892	
寄付金	200,000	卒業40周年寄付金(高23回生)
雑収入	240,370	同窓会報広告代等
前年度繰越金	857,552	
合計	4,534,814	

備考:平成24年3月卒業生同窓会入会金 3,804,000円(12,000円×317名)は2月18日に入金されていますが、平成24年度分収入とさせていただきます。

### 支出 (単位:円)

科目	金額	備考
<b>会務費</b>	1,885,612	
会議費	275,898	役員会・評議員会等会議費
総会・慰霊祭費等	709,484	同窓会総会・記念メダル代・慰霊祭費用等
支部総会・年次運営費等	623,500	支部総会助成・祝儀・旅費等
慶弔費	138,990	転退職餞別・慶弔費等
事務費	136,410	通信費・事務費等
事務局費	1,330	人件費・交通費
<b>事業費</b>	2,437,792	
卒業記念品代	191,220	校章入り印鑑
会報発行費	1,924,152	同窓会報編集・印刷・郵送費等
教育振興費	133,000	東海大会等出場選手激励金
諸費	189,420	ホームページ運営費
合計	4,323,404	
次年度繰越金	211,410	

●別途積立金会計		
1.終身会費等の積立金(普通預金)	4,158,221	5.利付国債No.1 10,000,000
2.諸事業用予備金	2,041,719	6.利付国債No.2 10,000,000
3.定期預金(磐田信用金庫)	10,000,000	7.利付国債No.3 5,000,000
4.定期預金(静岡銀行)	10,085,133	8.磐田信用金庫への出資金 1,000,000
		9.名簿会計 6,279,037
		合計 ¥58,564,110

## 平成23年度会務報告

- 4 / 7 母校入学式 保護者オリエンテーション  
同窓会だより第33号編集委員会(以後毎月継続して会合)
- 4 / 18 校内幹事会
- 4 / 16 磐田支部総会(会長、校長出席)
- 4 / 22 会計監査 役員会  
役員と校内幹事との懇親会
- 6 / 4 卒業50周年記念事業(高校14回)  
母校に記念品贈呈
- 6 / 10 役員会
- 6 / 18 評議員会・役員会  
はぐま会館
- 7 / 31 袋井支部総会(会長、校長出席)
- 7 / 22 役員会
- 8 / 20 総会前日打合せ  
(役員、当番年次、校内幹事)
- 8 / 21 慰霊祭(高33回担当)  
総会(高42回担当) 磐田グランドホテル  
卒業40周年事業(高23回) 同窓会に資金援助20万円
- 9 / 10 関西支部総会(会長、校長出席)
- 9 / 30 静岡支部総会(会長、校長出席)
- 10 / 10 同窓会だより第33号発行
- 11 / 11 役員会、総会当番引継ぎ会
- 11 / 12 関東支部総会(会長、校長出席)
- 1 / 14 掛川・菊川支部設立総会
- 2 / 3 役員会
- 2 / 11 評議員会懇親会(隔年開催)
- 2 / 12 豊田支部総会(会長、校長出席)
- 2 / 29 高校第64回同窓会入会式
- 3 / 1 高校第64回卒業式

## 平成24年度校内幹事役割分担

- 総括/永田 淳 磯部豊彦 大沢健一  
鈴木文基
- 役員会/永田 淳 磯部豊彦 佐藤正明  
鈴木敦士
- 庶務/永田 淳 青木和彦 小杉友祐  
澤井智ひろ 村井雅子 小粥美穂
- 会計/佐藤正明 鈴木敦士 青島玲子
- 名簿/磯部欣宏 村松芳郎 藤井元喜
- 慶弔/磯部欣宏 村松芳郎 柴田里沙
- はぐま会館/磯部豊彦 大沢健一 鴨藤忠博
- 同窓会だより/鈴木文基 駒形一路  
柴田里沙 小粥美穂
- ホームページ/磯部欣宏 小杉友祐  
駒形一路 村井雅子

## ★平成24年度各種当番年次★

- 卒業10周年 高校53回生(新年次委員選出)
- 卒業20周年 高校43回生(総会担当)
- 卒業30周年 高校34回生(慰霊祭担当)
- 卒業40周年 高校24回生(南高校に資金援助)
- 卒業50周年 高校15回生(同窓会に資金援助・同窓会よりメダル贈呈)
- 卒業60周年 高校5回生(同窓会より銀メダル贈呈)
- 卒業70周年 見中16回生(同窓会より金メダル贈呈)

## 事務局より報告

8月19日の34回生による慰霊祭、43回生主催の総会、共に成功裏に終了致しました。当番年次を始め関係諸氏のご協力の賜物と感謝申し上げます。また、今年度は本校創立90周年にあたり、11月14日(水)の記念式典に向けていただいま着々と準備をしております。その件につきまして会員の皆様から多くの寄付をいただき、同窓会ならびに学校関係者一同大変感謝しております。総額は、124,9万1,000円(10月10日現在)に上りました。一部は記念式典・記念講演会や記念誌・回想録の刊行費用に、また生徒の教育振興資金としても活用させていただきます。有り難うございました。

## 「尾崎先生の生前の個人資料寄贈」

平成24年4月に本校の元教員(歴史担当)の小杉達様より次のような主旨のお手紙を頂きました。  
「同窓会だより第31号(平成21年)に概要を報告いたしました。初代校長尾崎楠馬先生の直筆手紙はじめ関係書類等を岩崎鐵志氏(元静岡県立文化芸術大学教授)が数年前に古書店で偶然発見し、購入して下さったお陰で尾崎先生の資料の散逸が免れました。また、大橋雄司氏(元日本専売公社たばこ研究所職員、博士)のご尽力でその資料の解説が進んでおります。今年創立90周年の記念すべき年に当たり、この資料を解説後、夏までに磐田南高校に寄贈いたしますので、宜しくお取り計らい下さい。」

先日、この資料が小杉先生から寄贈されました。大変貴重な資料で、生前の尾崎先生のお人柄が偲ばれます。この資料にお心を砕き、購入、解説までしていただいた3名の先輩諸氏に心からお礼を申し上げます。これらの資料は、大切に保管・活用していきたいと考えております。(永田 淳)



## 編集室より

創立90周年記念特集号が「歴史に学び、未来を拓く」をテーマに発行できました。ことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

母校は大正11年、初代校長尾崎楠馬先生が質実剛健を建学の精神に、労作教育を通じた人間づくりを教育の基礎に据えて創立されました。爾来、多くの恩師・先輩の熱き指導と努力により、輝かしい実績を積み重ねた90年の歴史は同窓生の誇りとすることです。

- 今回の紙面は特集として、建学の精神を今も伝える小田原山に思いを馳せるとともに、オリンピックで三人のメダリストを輩出した水泳部と見付中学及び、磐田南高校において5回の全国優勝を達成した陸上部に焦点をあて、その偉業を振り返ることにしました。また、創設期の大先輩である見中5回の友好好様には、当時の貴重なお話を伺い、掲載をさせていただきます。さらに、本号には90周年記念事業の一環であります回想録第2号(7月末刊行)の一部を抜粋して掲載いたしました。これらを通し、見中魂に少しでも触れることができればと思っております。
- 結びに、発行に際し多くの同窓生の皆様を始め、磐田南高の生徒会長さんからも貴重な原稿や資料等をお寄せいただきましたことに編集者一同重ねてお礼を申し上げます。
- 編集委員**
- 櫻井 孝順(高17) 鈴木美智子(高8)
  - 鈴木 昭次(高12) 橋本 洋子(高14)
  - 伊藤 英明(高15) 谷口 智子(高21)
  - 橋田 悦子(高16) 鈴木 智子(高23)
  - 高橋耕太郎(高18) 横井 純夫(高23)
  - 原田 康代(高20) 鈴木 文基(高27)
  - 八木 正文(高23)